

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月30日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》夜間中学における教育活動充実に係る調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間学級における外国人生徒の受け入れ体制 ・外国人生徒の健康管理等保険関係 ・国際理解教育 ・夜間学級における日本語指導についての指導法 ・日本語指導、教科の評価 ・外国籍生徒の進路指導
調査研究のねらい	<p>文花中学校夜間学級には外国出身生徒が全校生徒の約8割在籍している。今後も外国籍生徒の増加が見込まれることから、外国出身生徒に対する校内での受け入れ体制、教科学習に必要とされる日本語力習得のための指導法、健康管理等について校内研修会の実施また、日頃の教育活動を通して研究および研修をする。</p> <p>特に、文花中学校には日本語学級が設置され、日本語教育が実施されている。教員の日本語教育指導力の向上は恒常的に求められているが、日本語指導については、学習指導要領に「日本語科」がないため、日本語教育について体系的な教育を受けた教員が当たるわけではなく、担当となった他教科の教員が独自に日本語教育についての研修の機会を得て、体験的に学んできた知見、技術で対処してきているのが現状である。</p> <p>そこで、外部から講師を招請して研修会を実施し、日本語教育指導力の質的向上を図り、外国人生徒が円滑に教科学習に取り組むことができ、充実した学校生活を送ることができる学校教育を目指すための研究とする。</p>
調査研究の成果	<p>1 研究の内容・経過</p> <p>(1) 校内研修会</p> <p>第1回 令和元年7月1日(月)</p> <p style="padding-left: 40px;">テーマ：「夜間学級における日本語教育、日本語指導について」</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：公益財団法人国際日本語普及協会 小形 真佐子</p> <p>第2回 令和元年8月30日(金)</p> <p style="padding-left: 40px;">テーマ：「外国人の視点で捉え直す日本語～日本語の音声・文字～」</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：公益財団法人国際日本語普及協会</p>

山本 さやか

第3回 令和元年8月30日(金)

テーマ:「コミュニケーションの第一歩
～名詞文・形容詞文～」

講師:公益財団法人国際日本語普及協会

山本 さやか

第4回 令和元年9月30日(月)

テーマ:「外国人の視点で捉え直す日本語」

講師:公益財団法人国際日本語普及協会

宮下 しのぶ

第5回 令和元年11月25日(月)

テーマ:「外国にルーツを持つ生徒が抱える課題」

講師:公益財団法人国際日本語普及協会

赤木 朋子

第6回 令和元年12月16日(月)

テーマ:「教科学習と日本語学習を結びつける①
—日本語学習の段階」

講師:公益財団法人国際日本語普及協会

内田 雅子

第7回 令和2年1月20日(月)

テーマ:「教科学習と日本語学習を結びつける②
～日本語でコミュニケーションがとれるよ
うになった生徒～」

講師:公益財団法人国際日本語普及協会

赤木 朋子

(2) 視察・調査

令和元年12月6日(金) 神戸市立丸山中学校西野分校

目的:先進校での取り組み状況の調査、他県他市との情報共有

2 研究の成果

先進校視察や先進校生徒との交流会に参加することにより、他県他市の中学校夜間学級について多くの情報を得ることができ、本校夜間学級での教育活動に対する取り組みが積極的となった。

日本語教育研修会を開催したことにより、職員の日本語教育に対する意識、問題解決に向けた取り組みが深まった。また、都内

の他夜間学級においても独自教材の開発などを通じ、向上している。

実施校による報告書を添付する。

「夜間中学における教育活動充実に係る調査研究」

< I > 本夜間学級の概略

I 在籍生徒数、学級数

① 在籍生徒数

普通学級 19 名 日本語学級 22 名 計 41 名

② 学級数

認可学級数 通常学級 3、日本語学級 2 計 5 学級

認可学級数は 5 学級であるが、生徒の年齢・母語・就学歴等の違いにより基礎学力、学習進度の差が大きく、習熟度別学級編成をする必要性ある。運営学級数は、普通学級 5、日本語学級 5、計 10 学級で運営している。

③ 母語話者による特質

日本語、韓国語、中国語、フィリピン語、ウガンダ語、ネパール語

ここ数年、外国籍若年生徒が数年来増加している傾向にある。

若年の外国籍生徒の増加は他の夜間学級また、区内の通常の中学校でも顕著になっているところから、この若年層の増加傾向は今後も続くものと推察できる。増加の原因としては、保護者に付随する家族滞在資格による来日である。

保護者の仕事の都合による来日だが、特に本校では、家族滞在視覚に起因する生徒数が引き揚げ関係、国際結婚関連生徒数を上回っている。

< II > 調査研究課題と調査

1 夜間学級における外国人生徒の受け入れ体制

外国人生徒の健康管理等保健関係

本校では、既卒者を除く入級希望生徒に対して入学相談を行っている。

外国籍生徒に対しては、入学相談面接時に入学条件、教育内容、健康状態、学校生活等について説明をするが、外国を話せる職員、または通訳員を介しての面接となる。

保健関係についても同様である。

その際、多言語に対応するため通訳介助員の配置を受け、逐次通訳業務を依頼しているが、多言語対応の入学相談カードも作成し相談を行っている。保健調査等も同様に多言語版を作成して対応している。内容により、やさしい日本語を使って伝達できない場合に用いる。翻訳による資料の提供と通訳員は、対象者に正確に伝達事項を理解してもらうための極めて有効な手段である。また、母語話者となる通訳員は、対象母語による文化、習慣の違いをよ

く理解しているため、文化的背景の違いによる、たとえ言葉は通じても意思が通じないという、生徒と職員との橋渡しとなっているところも、通訳介助員の大きな役割となっている。

(英語版 入学受付カード)

(韓国語版 入学受付カード)

Application Form		受付	年	月	日	受付者
About Applicant	Kana:		Date of Birth: Y M D			
	Name:		Age:	Sex: Male / Female		
	Address:					
	Nationality:		☎ - -			
	School Background	Primary School	Y M	School, the grade		Completed
		Junior High / Middle	Y M	School, the grade		Completed
		Others	Y M	School, the grade		Completed
	Total:		years			
	Workplace	Name:		☎ - -		
		Address:				
Reason for Entrance						
①進学のため(To go to High School)						
②資格試験等()の受験に卒業資格が必要のため (To get any professional qualification)						
③中学卒業を目的として(To graduate from Junior High School)						
④日本語を覚えるため(To learn Japanese language)						
⑤基礎的な読み書き計算の力をつけるため (To learn the basic ability to read, write or calculate)						
⑥その他(Others)						
I hope to start from grade.		After graduation:				

입학 접수 카드		受付	年	月	日	受付자
입학 지원자	Kana:		생일: 년 월 일			
	이름:		연령:	성별: 남 / 여		
	주소:					
	Nationality:		☎ - -			
	학교 배경	초등학교	년 월	학교, 계 학년		수료/졸업
		중학교	년 월	학교, 계 학년		수료/졸업
		기타	년 월	학교, 계 학년		수료/졸업
	Total:		수학연수			
	직장	회사명:		☎ - -		
		주소:				
입학 이유						
①고등학교에 진학하기 위해						
②자격시험 등()을 응시하기 위해						
③중학교 졸업 후 고등학교에 진학하기 위해						
④일본어를 배우기 위해						
⑤기본적인 읽기, 쓰기, 계산 능력 향상시키기 위해						
⑥기타(기타)						
I hope to start from grade.		졸업 후의 목표:				

(中国語版 健康診断予定表)

(नेपाली 語版 学校伝染病説明書)

2019年 墨田区立 文花中学 夜間学級

在夜間学級学习健康是最重要的。要注意健康和安愉快地渡过学校生活吧。

开始进行定期健康检查

項目	何時	地点	検査内容	要求・注意
眼科検査	4月23日 (星期二) 19:30~	保健室	・检查眼晴疾病。	・戴隐形眼镜的人,事先要摘下隐形眼镜。 ・要把额前的头发提到头上。
检查总结 X 光线 透視	5月23日 (星期四) 5:30分~	大门口前	・在流动车内,男、女分别进行 X 光线透視。 ・检查肺结核等胸部疾病。	・不要穿带有金属和花边的内衣。 ・要穿容易脱的内衣到校。 ・不要戴项链。 ・长发的人要把头发盘在头上。 ・怀孕的人、有可能怀孕的人、三个月以内通过透視的人,要向班主任老师说明。
检查心脏 心电图	5月16日 (星期四) 6:50分~	会议室	・躺在床上做心电图。 ・检查心脏功能。	・因为要给予脖子和脚脖子戴上器具,所以要穿容易脱的衣服和袜子。
检查肾脏 检查尿	5月16日 (星期四) 5:35-7:00	相談室	・取尿化验,主要是查肾脏病,糖尿病等疾病。	・按预定日期在家里取尿,放在规定的容器里,必须在规定的时间内带到学校进行化验。
内科検査	5月21日 (星期二) 6:50分~	保健室	・检查内脏功能和整体情况。 ・用听诊器听声音。	・检查之前要洗澡。 ・上身要穿容易脱的衣服。
耳鼻喉科 検査	6月4日 (星期二) 6:50分~	保健室	・检查耳、鼻、喉有无疾病。	・耳朵、鼻子要洗干净。 ・留有长发的人,要把耳朵露出来。
測量身体	6月12日 (星期三) 7:40分~	保健室 食堂 会议室 走廊等	・测量身高、体重、血压、听力、视力。 ・由学校教师进行测量。	・戴眼镜的人不要忘了戴眼镜。
牙科検査	5月29日 (星期三) 6:50分~	保健室	・检查有无虫牙,牙床有无疾病。	・晚饭后,请刷牙、漱口。

※ 心电图只安排新生和去年没有做过心电图的学生,其他的项目,全体学生都要接受检查。

अभिभावकहरू

सुमिदम्बु बुन्खायु गावको जोउर
(याकाना गाव)

बिदामा बस्ने सूचनाहरू

आफने छोराछोरीहरूलाई कोरोग विद्यालयमा अरु विद्यार्थीहरूलाई भन्दा कति दाना नै केरुण्डमा विद्यालयको स्वास्थ्य सुरक्षामा खासै ध्यान नदिएर विद्यालयबाट बाहिरै फर्काउनु पर्ने हुन्छ। डाक्टरबाटै गरी दाना नै परिक्षण गर्नु होला तल उल्लेखित नियम अनुसार डाक्टरको क्लिनिकल परिक्षणमा बसि उपचार गर्नु होला। डाक्टरबाटै गरी खतरा बाध्यकारी भनिने दाना नै मसल उल्लेखित विद्यालय पत्र स्थिति चिन फारम) अभिभावकलाई रिहा पठाई विद्यालयमा बुझाउनु होला। उक्त फारम भुझाएपछि विरामी भई बसेको बिद गयलाई दैन

	सुरूवातको	बिदामा बस्ने समयवधि
पहिलो प्रकार	सास(SARS) बर्ड फ्लू(Avian influenza (H5N1)) इन्फ्लुएन्जा वादी	उपचार र रिकेम भासम्म
	इन्फ्लुएन्जा (H5N1) Avian influenza बाहेको	इन्फ्लुएन्जाको २ दिन भन्दा अघि ज्वर र रिकेम भएको २ दिन (शिशुको हकमा ३ दिन) सम्म
	लहरेखोको	लहरेखोको रिकेम भासम्म अथवा ५ दिन सम्मको औषधि (Antibiotic) उपचार र रिकेम भासम्म
दोस्रो प्रकार	Measles, दादुर (हासिक)	ज्वरो आएको भन्दा ५ दिन सम्म
	Mumps हाडे (ओताफुकुजा)	Parotid gland, Hregand, Sling gland swelling हाडे निस्केको ५ दिन भैसाकेको अथवा शारीरिक रूपमा स्वस्थ भएसम्म
	Rubella (फुउसिङ्ग)	खटिर रिकेम भासम्म
	ठेउला (मिजुबोउसोउ)	ठेउला रिकेम भासम्म
	Pharyngeal conjunctival fever (भाइरल ज्वर)	प्रमुखतया हाडेर रिकेम भासम्म
क्षयरोग		डाक्टर बाध्यकारी व्यक्तिहरूलाई खतरा छैन भनि प्रमाणित भएसम्म
	Meningococcal (मेनिङ्गाइतिङ्ग)	अवस्था हेरी विद्यालयको डाक्टरबाट अरु व्यक्तिहरूलाई खतरा छैन भनि प्रमाणित भएसम्म
तेस्रो प्रकार	Intestinal hemorrhagic E.coli infection (Food poisoning) Streptococcal infection	डाक्टर बाध्यकारी व्यक्तिहरूलाई खतरा छैन भनि प्रमाणित भएसम्म विद्यालयको डाक्टरबाट अरु डाक्टरबाट अरु

< II > 日本語指導について指導法・日本語指導

日本語指導研修会について、校内研修会での取り組み。
年間を通して日本語指導法研修会を7回実施し、日本語教育指導力の向上をはかるため、外部講師を招き、講義方式で研修を行った。

以下、本年度本校での校内研修会についての取り組みを示す。

(平成31年度校内研修)

1. 組織図及び手順

校長—副校長—教務部—教務部研修担当

手順

教務研修係素案作成・教務部会 — 職員会議 — 平成31年度校内研修ユニット設置—日本語普及協会（山本さやか氏）と講義内容カリキュラム等検討—日本語普及協会より、研修プラン及び見積り取得後研修計画作成 — 職員会議にて最終決定

2. 研修主題

「日本語指導力の向上」

3. 研修主題設定の理由

(本研修のねらい)

今年度は本研修会を実施し、日本語教育指導力の質の向上を目的とし、生徒がより潤滑に教科の学習に取り組むことができるようになることを目的に本研修会を企画した。

・昨年度までの研修との関わり

昨年度は日本語指導向上にかかわる校内研修会を、外部講師を招き2回実施した。

また、これまで都夜研日本語班会で開催される研修会等を利用して授業改善に努めてきた。特に平成30年度実施した、日本語普及協会所属の講師を招聘して行った研修会は、今後の指導力向上に向けた研修の進め方について示唆に富んだ内容であった。教室での指導方法はもとより、日本語指導についての基礎理論についての知識内容の具体的な必要性等についてである。そこで本年度は昨年度の研修内容をさらに発展させた内容の研修会を企画した。

4. 研修内容・方法

本校で職員が習得すべき、日本語指導能力とは本研修のねらいから、以下であると考えられる。

- ① 日本語指導における体系的な基礎理論
- ② 教科学習につながる日本語運用能力を習得させるための日本語指導法
以上を目的として具体的な研修内容と実施方法を示す。

- I 実施方法 : 日本語普及協会より講師を招き、講義方式で研修を行う。
II 時期回数 : 年間 7回 (夏季休業期間も利用して実施)

具体的な講義案を以下例示した。講義内容及びカリキュラムに関しては、校内研修担当者と日本語普及協会と協議検討して原案を作成する。

研修内容骨子

- ・ 日本語教育指導に関する知識
- ・ 教育実践のための技能
- ・ 教科学習と日本語
- ・ 日本語運用能力評価法

内 容		研修の視点
第1回	7月1日	外国人の視点で捉え直す日本語① 「日本語教育文法の外観」
第2回	8月30日	外国人の視点で捉え直す日本語② 「日本語の音声・文字」
第3回	8月30日	外国人の視点で捉え直す日本語③「コミュニケーションの第一歩 名詞文・形容詞文」
第4回	9月30日	「覚えてもっとコミュニケーションの幅が広がる一動詞文」
第5回	11月25日	外国にルーツを持つ生徒たちが抱える課題 —ダブルリミテッド、母文化・母語保持等
第6回	12月16日	教科学習と日本語学習を結びつける① —日本語学習の段階
第7回	1月20日	教科学習と日本語学習を結びつける② —教材の選び方、活用法、教室活動

5. 研修成果

1月をもって終了した本研修会であるが、その成果についてアンケート調査を行った。研修会に参加した職員は、本校夜間学級職員13名。そのうち2名は、今年度新規採用職員であるが、その他の職員は経験豊富な5、60代の職員が占めている。教科は、国語科3名、英語科3名、数学科3名、社会科1名、理科1名、技術科1名、美術科1名の構成となっている。アンケートからは、おおむね好評な結果が得られたが、職員が求めていることは、授業実践者として、すぐに実践に使える、より具体的な知識技術であることがわかった。やはり、日々の授業実践で悩みを抱え、やはり日本語教育について体系的な知識の習得が求められていた。

ただ、職員により教職経験年数、日本語教育についての知識また関心の差により、研修に求められる内容が異なってくることも見て取れ、ニーズの把握を更に多様に構成しなければならないと考えられた。

研修会を通して日本語教育に対する意識向上、動機づけは確実に深まった。

(校内研修 反省・アンケート結果)

項目1 期日、時間・場所について

- ・よかったです。1時間程度だとありがたいです。(授業準備の時間確保など)
- ・多かった
- ・良い。個人的には出勤しない日が多かったので、別の曜日もあると良かった。
- ・文花中でやっていただいたことによって、参加しやすかった。
- ・よい
- ・妥当
- ・概ね良好であった。
- ・適切でよいと思います。
- ・適当

項目2 実施回数について

- ・よかったです・適切な回数だと思う。
- ・良い・よいと思います・よい・妥当・よい
- ・多すぎる ・多かった
- ・4回から5回ぐらいでよい。
- ・夏休み中を入れて年間4回位
- ・学期に1回、計3回ぐらいでよい。
- ・内容を考えると、このぐらいの回数になってしまうのではないかと。できればもう少し少ないほうが助かるが。

項目3 研修会の内容について

- ・よいと思います。
- ・日本語指導について体系的に学ぶ機会が少ない中で、このように各回テーマを決めて

具体的に教えて頂く機会は大変貴重である。特に、文法的なことを学ぶことができるのは、大変ありがたかった。

- ・大変勉強になりました。授業にも活用させていただきました。自分について書き込むプリントなどは、進路指導にも活用できました。
- ・すでに知っている内容もあったが、役に立つ書籍を紹介してくれたのはよかった
- ・外国人が日本語を学ぶとき、どんなところでつまずくか参考になった。
ていねいな説明、実際に教えた経験をふまえての内容で良かった。
- ・授業で役立つ実質的な動詞の活用などの研修はよかったが、それ以外は講義内容とその講師の先生にお話頂いた内容があまり結びついていなかったり、講師の先生自体のポイントがわかりづらかったものがあった。実践に役立つ教材などのみの提示が良いと思う。
- ・実際に授業で使えるテクニックや学習者の状況（母語での習熟度等）を考慮した指導工夫等、すぐに実践出来る内容で授業改善に役立てることが出来た。
初めて日本語の指導をする教員にはとても役に立つ内容だと思います。
- ・具体的に生徒に指導する方法が知りたかったので、
第1回の概観のような内容は省略してもよかったと思います。
具体的な指導法は勉強になりました。自分なりにアレンジして授業で使っています。
- ・授業に活かせる内容を聞いてよかった。
- ・あまり新しい内容にふれることはできなかった。
- ・日本語の指導方法を学ぶ機会が少ない中で、テーマを決めて、それに関する指導法を 具体的かつ平易に説明してもらい、とても参考になった。
- ・講師の先生にもよると思いますが、テーマと講義の内容が結びついていないのではと思われる内容となっている回もあった。事前にそれぞれ何がテーマで、どのようなことを知りたいのか具体的に講師に伝えられればよかった。

項目4 その他 意見

- ・講師によって差が大きかった
- ・校内研修としての課題は日本語だけではないので他の領域もあるほうが偏らない。
- ・文花中学校により適した日本語教科書の選定と指導法の研修に充てる。
例えば、初年度の前期にいくつかの日本語教科書を比較検討して、後期に一冊に絞り込む。次年度に指導法の研修と、必要ならば、新出単語の各国語訳（大地を使い始めたときに作ったようなもの）を作成する。
- ・次回以降は、さらに助動詞を含めた表現の具体的な指導法を 学習できたらよいと思いました。
例「～ようです」と「～そうです」の 教え方

項目5 今回の研修について総合的に該当するところに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. とても役に立った－2人 | 2. 役に立った－6人 | 4. どちらでもない－2人 |
| 4. 役に立たなかった－1人 | 5. 全く役に立たなかった－0人 | |